

教健発第000120号  
令和6年（2024年）6月 3日

一般社団法人 熊本市薬剤師会  
熊本市薬剤師会長 様

熊本市教育委員会  
健康教育課長 吉田 康誠

令和6年度（2024年度）喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会  
について（通知）

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本市教育委員会では、学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実と指導者の指導力向上を目指し、別紙要項のとおり研修会を開催します。

つきましては、関係者へご周知いただくと共に、参加希望がある場合は、下記連絡先へご連絡いただきますようご案内申し上げます。

#### 記

- 日時 令和6年（2024年）7月9日（火）14：00～16：30
- 場所 熊本市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室（小ホール）
- 内容 講演 「若者の薬物乱用の現状を踏まえた薬物乱用防止教育」  
講師 東京薬科大学薬学部社会薬学研究室 教授 北垣 邦彦 氏
- 対象者 教職員（各校1名）  
学校医・学校歯科医師・学校薬剤等（希望者）

#### <連絡先>

熊本市教育委員会健康教育課：原山・今坂・村上  
TEL：096-328-2728 FAX：096-323-8355  
E-mail：harayama.terumiB@city.kumamoto.lg.jp

令和 6 年度（2024 年度）  
喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会 実施要項

1 目 的

我が国の喫煙・飲酒・薬物乱用の情勢は予断を許さない状況にある。青少年の覚醒剤事犯検挙人員は年々減少しているが、大麻事犯検挙人員が令和 5 年度には過去最多を更新し、危険ドラッグの乱用者による事件・事故も多発している。

また、薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬や咳止めなどの市販薬を、大量・頻回に服用するオーバードーズが、10 代・20 代の若い世代を中心に深刻化しており、医薬品の正しい使い方の知識を普及することが求められる。

そのため、児童生徒が喫煙・飲酒・薬物乱用の有害性・危険性についての認識を深め、将来にわたって適切な行動選択ができるよう育成するために、発達段階に応じた薬物乱用防止教育を行うことが重要である。本研修会では、教職員の指導力の向上に努めるとともに、学校教育における薬物乱用防止教育の一層の推進を図る。

2 主 催 熊本市教育委員会

3 日 時 令和 6 年（2024 年）7 月 9 日（火） 14：00～16：30

4 場 所 熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室（小ホール）  
熊本市中央区桜町 1 - 3 TEL 096-355-5235

5 対象者 教職員（各校 1 人）  
学校医、学校歯科医、学校薬剤師等（希望者）

6 日 程

13:30 14:00 14:10 15:55 16:05 16:25 16:30

受 付	開 会	講 演・演 習	休 憩	説 明	閉 会
--------	--------	---------	--------	-----	--------

7 内 容

- (1) 講演 「若者の薬物乱用の現状を踏まえた薬物乱用防止教育」  
講師 東京薬科大学薬学部社会薬学研究室 教授 北垣 邦彦 氏
- (2) 説明 「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育年間計画と薬物乱用防止教室  
について」 健康教育課